

福島第一原子力発電所 土壤中のPu分析結果

1.測定結果：

(データ集約:3/28)
(単位：Bq/kg・乾土)

採取場所 ()は1,2号機スタックからの距離	採取日	Pu-238	Pu-239+Pu-240
グラウンド(西北西約500m) ¹	平成25年9月16日	N.D. [2.3 × 10 ⁻²]	N.D. [2.3 × 10 ⁻²]
野鳥の森(西約500m) ¹		N.D. [1.5 × 10 ⁻²]	(3.8 ± 0.82) × 10 ⁻²
産廃処分場近傍(南南西約500m) ¹		N.D. [2.4 × 10 ⁻²]	N.D. [2.4 × 10 ⁻²]
国内の土壤(昭和53年～平成20年) ²		N.D. ~ 1.5 × 10 ⁻¹	N.D. ~ 4.5

[]内は検出限界値を示す

1：過去のサンプリングが重ならないよう隣接地を採取。

2：出典「環境放射線データベース」(文部科学省)

2.分析機関：株式会社 化研

3.評価：

平成25年9月16日に検出されたPu-239+Pu-240の濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウトと同様なレベルである。しかし、これまでの結果から、今回の事故に由来する可能性が考えられる。

以上